



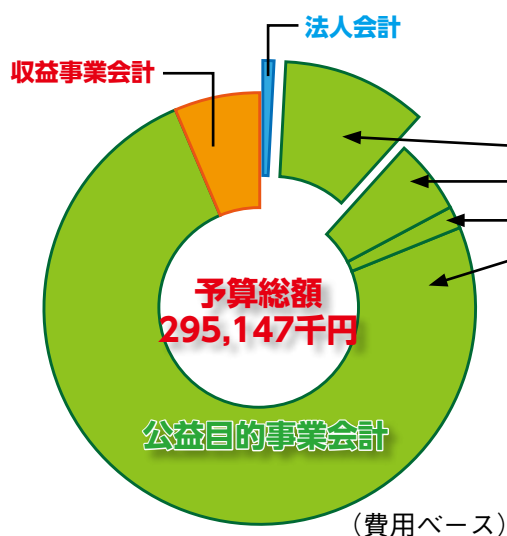
■公益財団法人長崎平和推進協会 〒852-8117 長崎市平野町7番8号 ■電話(095)844-9922 FAX(095)844-9961  
<http://www.peace-wing-n.or.jp>

- 平成27年度予算と事業計画
- 平成26年度被爆体験講話実施状況
- 継承部会・平和案内人交流会開催
- アジアの若者による平和ネットワーク構築プログラム実施報告
- アジア青年平和交流事業実施報告
- 会員募集のお知らせ
- TOPICS! (書籍販売コーナーより ほか)
- 協会設立記念事業・蓮池薫氏講演会開催
- 市民対象碑めぐり実施報告
- ピースネット実施報告
- 秋月グラント助成事業募集中



「アジアの若者による平和ネットワーク構築プログラム」の様子  
 (6ページに関連記事)

# 平成 27 年度の予算と事業計画をお知らせします！



**公益目的事業会計274,062千円 (前年度比5,107千円増)**  
不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与する事業で県知事の認定を受けたものをいいます。

- ①平和推進事業 (32,028 千円)
- ②長崎原爆資料館運営事業 (16,615 千円)
- ③長崎原爆資料館図書資料収集整理事業 (5,083 千円)
- ④国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業 (220,336 千円)

**収益事業会計 18,591千円 (前年度比1,291千円増)**  
原爆資料館の図書等販売コーナーで平和関係の図書やグッズを販売する事業のための会計で、収益は平和推進事業に繰り入れて有効に活用します。

**法人会計 2,494千円 (前年度比94千円増)**  
法人の事業を適正に運営するため経常的に要する費用をいいます。

●上記のうち、会費や寄付金を受け入れる2つの会計（平和推進事業会計・法人会計）の主な内訳です。また被爆70周年に向けて平成24～26年度に積み立てた、「被爆70周年記念事業実施積立資産」を取崩して、それぞれ「啓発事業費」「調査研究費」「育成事業費」に充当します。

## 【収益】

(単位：千円)

科 目		平和推進事業会計	法人会計	計	前年度との差
基本財産等運用収入	基本財産と積立資産から得られる利子	10	0	10	0
会費収入	会員の皆さまからいただく会費	3,272	1,203	4,475	△ 159
補助金収入	長崎市から交付される補助金	25,876	1,224	27,100	0
寄付金収入	協会に寄せられる寄付金	600	0	600	△ 150
雑収入	各科目に当てはまらない収入	1	0	1	0
合 計		29,759	2,427	32,186	△ 309
他会計振替額	収益事業からの繰入金	500	0	500	△ 100
積立資産取崩	被爆70周年記念事業実施積立資産取崩収入	1,600	0	1,600	1,600
合 計		31,859	2,427	34,286	1,191

## 【費用】

科 目		平和推進事業会計	法人会計	計	前年度との差
事業費		32,028		32,028	835
発刊事業費	刊行物の発刊事業等に係る費用	1,308		1,308	31
啓発事業費	被爆体験講話の実施や市民のつどい、講演会、写真展の開催等に係る費用	2,767		2,767	907
調査研究費	国際会議等への出席に係る費用	200		200	100
育成事業費	部会活動の支援、アジア青年平和交流事業、平和案内人の派遣・育成、秋月グラント(助成)事業等の実施に係る費用	5,712		5,712	197
人件費	事業に係る人件費分	19,302		19,302	131
その他事務費	広報・事業推進委員会会議費、事務用機器賃借料など共通の事務費	2,570		2,570	△ 269
減価償却費	什器備品・ソフトウェア	169		169	△ 262
管理費			2,494	2,494	94
人件費	理事会・評議員会等に係る人件費分		1,224	1,224	9
その他管理費	協会の運営管理に係る費用		1,203	1,203	85
減価償却費	ソフトウェア		67	67	0
合 計		32,028	2,494	34,522	929
減価償却費を除いた合計		31,859	2,427	34,286	1,191

## I 平和推進事業（公益目的事業会計）

発刊事業 **会報「へいわ」の発行** 年4回、協会活動の情報発信のため会報を発行  
**ブックレット「平和のあゆみ」の発行** 協会が取り組んだ事業概要（年1回）の発行  
**広報活動費** 情報BOX、会員勧誘リーフレットの作製

啓発事業 **平和学習の実施** 被爆体験講話者の派遣、平和学習用のDVD・ビデオ・写真パネルの貸出など。  
**講演会等の開催** 平和問題への認識を深める講演会等の開催。今年度は被爆70周年記念事業として市立図書館にて原爆写真展を開催  
**国連軍縮週間行事** 市民向けイベント「市民のつどい」を開催

調査研究事業 平和・軍縮関係の国際会議やシンポジウムへの参加。今年度は開催数の増加が見込まれるため、積立金を取崩し予算を増額した。

育成事業 **部会活動** 継承部会、写真資料調査部会、国際交流部会、音楽部会の各活動への支援。今年度は、より活発な活動を支援するため、積立金を取崩し予算を増額した。  
**アジア青年平和交流事業** 日本とアジア諸国の若者との意見交換・相互理解を目指して、市内の大学等に事業を委託  
**平和事業への支援** 協会の活動趣旨と一致する事業などへの共催、後援  
**秋月グラント** 被爆体験の継承や平和意識高揚のための事業を実施する団体等への助成  
今年度は、支援を拡充するため、積立金を取崩し予算を増額した。  
**平和案内人派遣事業** 原爆資料館、追悼平和祈念館等の案内を行う平和案内人の派遣  
**平和案内人育成事業** 被爆70周年の節目の年に平和案内人（第6期生）を新たに育成

## II 長崎原爆資料館運営事業（公益目的事業会計：長崎原爆資料館観覧料徴収・受付案内業務）

## III 長崎原爆資料館図書資料収集整理事業（公益目的事業会計：長崎原爆資料館図書資料整理事業）

## IV 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業（公益目的事業会計）

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の運営を通じて、協会とのかかわりの深い次の事業を行います。

**被爆者証言映像制作** 被爆証言の収録、映像化

**被爆関連資料多言語化** 収集した被爆体験記や被爆証言映像の翻訳、吹替映像の制作

**海外原爆展** 原爆のことを知る機会の少ない海外の人たちに向けて現地で原爆展を開催し、平和を発信

**ピースネット** 来崎が難しい遠隔地の小・中学生、海外の人たちなどを対象にインターネット会議システムによる被爆体験講話を実施

**被爆体験記朗読ボランティア育成・派遣** 被爆の惨状を朗読で語り継ぐボランティアの育成・派遣

**平和ボランティア育成外国語講座** 被爆の実相を世界に広げていくため、外国語（英語、中国語、韓国語）で平和ゾーンを案内するボランティアの育成

**平和・国際交流のためのプログラム** アジアの若者による平和のためのネットワーク作りのためのプログラムの実施

**長崎国際平和映画フォーラム** 原爆・平和に関連する映画の上映。被爆体験記の朗読劇などを併せて開催

**被爆70周年事業** 広島市の祈念館と合同の企画展の開催、体験記等の多言語翻訳・活用、証言映像の多言語吹替

## V 図書販売事業（収益会計）

## VI その他管理運営に係る費用（法人会計）

(公財)長崎平和推進協会設立記念事業

# 蓮池薫氏講演会「夢と絆」を開催しました!

2月7日、当協会設立記念事業として、蓮池薫氏講演会「夢と絆」を原爆資料館ホールにて開催しました。会場には、約350人の来場者が詰めかけ、満員となりました。また、今回は、サテライト会場として、同館平和学習室で講演会の様子を中継し、こちらの会場にも約100人が



講演を行う蓮池薫氏

聴講に訪れました。講演では蓮池氏が拉致された時の状況や、その後の生活の状況、家庭を持ち北朝鮮で生きていく決心をするも、ふるさとの日本を忘れられなかつた心情などを語られました。辛く、困難な体験の話の中にもユーモアを交えながら講演は進められ、



来場者は熱心に耳を傾けていました。講演の後には質疑応答の時間も設けられ、来場者からの質問に蓮池氏は丁寧に答えていました。

最後に、蓮池氏からいただいたメッセージを紹介します。「北朝鮮が保有している核兵器が廃棄され、平和な北東アジアが実現されること、拉致問題が解決して未来志向的な日朝関係が築かれることを心から願います。」



# 平成26年度 被爆体験講話実施状況

平成26年度も、多くの被爆体験講話の依頼をいただきました。平成25年度と比べると、講話件数が増えています。

そのほとんどは、長崎を訪れる修学旅行者、県内の小・中・高校生ですが、研修などの団体の他、海外からも多く申し込みをいただいています。

長崎市内での講話以外にも、県外の自治体等から依頼を受けて継承部会員が各地を訪問し、講話を行うこともあります。今年度は、新潟県柏崎市、大阪府大阪市など10市町で行いました。

また、長崎県が主催する「被爆体験講話者派遣事業」に平成23年度より継続して協力しており、長崎県内各地や全国各地の大学でも実施しました。

原爆投下から69年が経過し、被爆者の高齢化は進んでいます。昨年度より部会員数は増加しており、現在の登録人数は44人となりました。部会員の増加、講話件数の増加の一因には、今だからこそ話さなければならぬ、聞かなければならない、という被爆者、聴講者双方の思いが反映されているようにも思います。

被爆70年を迎える今年、継承部会の活動はますます活発になりそうです。

年度	件数	人数
22年度	1,333	165,859
23年度	1,352	172,820
24年度	1,342	172,911
25年度	1,312	167,642
26年度	1,355	170,697

被爆体験講話件数と聴講者数の推移  
(26年度は見込)



かしはら 檀原市での講話の様子

## 継承部会・平和案内人交流会を開催

1月31日、恒例の「継承部会・平和案内人交流会」を開催しました。今年度は昨年5月より活動を開始した平和案内人第5期生も加わり、継承部会員・平和案内人・事務局総勢63人が参加する大にぎわいの会となりました。



交流会では、くじで席を決め、継承部会員・平和案内人・事務局が交互に着席します。

この交流会が初めて話す機会になる参加者もいますが、それぞれ食事をしながら、被爆体験講話やガイドに関する話題から日常生活のことまで、様々な話で盛り上がりつつあります。また、各テーブルから一人ずつ、継承部会員・平和案内人として活動する中での思いや、

日常感じていること、この交流会に参加しての感想などを発表しました。

普段、原爆資料館等で顔を合わせる機会があっても、ゆっくりと話す時間がなかったり、お互いの名前を知らなかったりするのが現状です。参加者からは、「参加しようか悩んだけれど、いろいろな方とお話できてよかった。これからどこかで出会った時に話しかけやすくなる」という声や、「このような和気あいあいとした中で交流を重ねていくことが、継承の基盤となるのではないか」という意見が聞かれました。



短い時間でしたが、継承部会員と平和案内人の交流を深める、有意義な時間となりました。

## 市民対象碑めぐり実施報告



3月15日、継承部会原爆遺跡研修班が主催する「市民対象碑めぐり」を開催しました。

朝からあの医学部が被爆して大怪我を負って帰ってきた時の様子、山王神社で遊んだ思い出や被爆した大楠の樹皮が少しづつ焼けた部分を包み込んでいった変化など自身の体験も話しながら歩き、予定時間を少し超過して終了しました。参加者からは「門柱などは建築物だが、大楠は今も生きています。生きた証として、後世に伝えていくことも大事ではないか」という感想が寄せられ、被爆体験の継承についても考えることのできる時間になりました。

いにく雨が降りましたが、開始時間までには止み、無事にコースを回る事が出来ました。

今回は、昨年9月の碑めぐりに引き続き、国の登録記念物の旧長崎医科大学門柱、山王神社二の鳥居を中心に、市民ら約50人を案内しました。

班員らは、爆風で傾いた門柱や二の鳥居の他にも医科大学平和モニユメントや山王神社の大楠などを紹介し、その場所にまつわる話も含めて案内を行いました。

また、長崎医科大学に通っていた近



世界とつながる

# ピースネット実施報告

追悼平和祈念館のインターネット会議システムを利用し、遠隔地の方々に対して被爆体験講話等を実施する「ピースネット」を1月から2月の間に、アメリカ、クロアチア、スペインの3か国とそれぞれ行いました。



1月29日、アメリカ合衆国マサチューセッツ州五大学東アジア研究センターにご協力をいただき、会場

トを実施しました。一昨年、五大学東アジア研究センターが実施する研修ツアーで全米から選出された教諭一行が祈念館を訪れた際に、ピースネット事業に関心を寄せていただいたことから実現したものです。当協会継承部会員・山脇佳朗氏が被爆体験講話を行いました。

2月6日には、クロアチアのパジンの中等学校とのピースネットを

施しました。このピースネット

では、「アジアの若者による平和ネットワーク構築プログラム」の一環として、長崎の高校生と平和についての意見交換を行いました。

2月18日には、スペインのリーバス・バシアマドリッド市とピースネットを実施しました。

スペイン会場には、スペイン市民戦争体験者の方や現地の子どもたちを迎え、当協会継承部会員・丸田和男氏の被爆体験講話を行いました。



# アジアの若者による平和ネットワーク構築プログラム実施!

2月5日から11日にかけて、追悼平和祈念館事業「アジアの若者による平和ネットワーク構築プログラム」を開催しました。

今回は、マレーシア、韓国に加えて、中国山東大学からも初めて教官と学生が参加することになり、合計16人の皆さんが来崎しました。

一行が到着した翌6日には、当協会



継承部会員・原田美智子氏の被爆体験講話の聴講や原爆資料館などの見学を行い、被爆の実相について学習しました。

7日、8日の両日は、日本の高校生・大学生や社会人も参加して、碑めぐり、ワークショップやグループディスカッションを行いました。

この2日間は、活水高校平和学習部のふりそでプロジェクト（当協会「アジア青年平和交流事業」の認定事業）のメンバー10人が、自分たちの力で企

画、運営を行いました。グループディスカッションでは、「平和を持続するためには何をすべきか」などをテーマに活発な議論



が交わされました。

また、ワークショップでは、全員で協力して「ピースボード（平和のボード）」の制作を行いました。

9日は、市内視察を行い、10日は、終日自由行動で、それぞれショッピングや観光を楽しみ、11日、帰国の途につきました。



# 「アジア青年平和交流事業」実施報告

平成26年度の「アジア青年平和交流事業」は、活水高校平和学習部の「ふりそでプロジェクト」と長崎外国語大学の「2014 国際交流プロジェクト」が事業認定を受けました。

ふりそでプロジェクトは、宮城学院中学校、韓信大学、相山高校、葦山高  
校、豊川高校、広島女学院高校の学生  
たちと交流し、特に宮城学院中学校か  
らは東日本大震災についての実相など  
を学びました。また、6ページで紹介  
した「アジアの若者による平和ネッ  
トワーク構築プログラム」では実施事  
業の一部を企画・運営し、海外からの  
学生たちとの交流に大きな役割を果た  
しました。さらにクローチアとのピー  
スネットに参加し、ふりそでプロジェ  
クトの活動内容についてプレゼンテー  
ションを行うなど活発に活動しました。  
クローチア側から絵本「ふりそでの



少女」をクローチア語に翻訳したいとの提案があるなど着実に活動は広がっています。  
これからの活動予定も多く、今後の活動にも期待されます。

12月14日には、長崎外国語大学の2014 国際交流プロジェクトが実施する「世界の料理を食べようB級グルメ」が開催され、多くの人でにぎわいました。



このイベントは、留学生と参加者が一緒に各国の家庭料理を作って交流を深めようというもので、他にも参加した外国の方に対して、いろいろな質問を行う「質問コーナー」や、各国のクリスマスの過ごし方や習慣に関するクイズを出題する「クイズコーナー」が行われました。  
2月15日には祈念館で、両事業の実績を報告しました。



## 秋月グラント助成事業募集中!!

「秋月グラント」とは当協会創始者の一人、故・秋月辰一郎氏の名前を冠した、被爆体験の継承や平和意識の高揚を図るための活動などへ財政的な支援を行う事業です。

被爆70周年にあたる平成27年度に実施する事業について、申し込みを受け付けています。

対象：次の①から④の平和活動を企画・実施する団体、個人を基本とします。

- ① 被爆・戦争体験を後世に伝えるための活動企画
- ② 国内外において、国際的な平和交流を目的とした新規の活動企画
- ③ 調査研究・資料収集・教育などの幅広い平和啓発のための新たな活動企画
- ④ その他、被爆体験の継承や平和意識高揚のための活動企画

助成額：全体事業費の3/4以内の金額(20万円を限度)とし、事業内容によって決定します。

助成額の支給：事業が終了し活動報告が提出された後、支給します。

申込期限：平成27年11月28日(金)まで。なお助成額が予算額を超えた場合は、その時点で締め切ります。詳しくは協会事務局 ☎(095)844-9922 まで。



## 一緒に平和の輪を広げませんか? 会員加入のご案内

長崎平和推進協会は「核兵器の廃絶と世界恒久平和」を目指して昭和58年に官民一体となって設立されました。平和推進・啓発に関するさまざまな活動を行っています。まずは、お気軽にお問い合わせください。

当協会も参加する、「長崎市の平和・原爆」のフェイスブックページです。⇒



問合先：公益財団法人 長崎平和推進協会  
電話：(095)844-9922(平日午前9時~午後5時)  
ホームページ：<http://www.peace-wing-n.or.jp>

長崎原爆資料館

## 書籍販売コーナーより 人気商品を紹介します!



ながさき  
原爆の記録  
著者：長崎市

500円(税込)



長崎原爆資料館  
(児童図書)  
長崎平和推進協会編

300円(税込)



原爆被爆  
記録写真集  
著者：長崎市

1,000円(税込)



折り鶴ストラップ  
400円(税込)



マグネット  
平和祈念像  
500円(税込)



キーホルダー  
平和祈念像  
300円(税込)

### 長崎原爆資料館限定 新商品!!



ミニタオル (今治産 綿100%使用)  
価格：各 300円(税込)

<問合先> (公財) 長崎平和推進協会

電話：(095)844-9922 FAX：(095)844-9961

ホームページ：http://www.peace-wing-n.or.jp

※他にも様々な商品を取りそろえています。また、当協会ホームページでは通信販売にも対応していますので、ぜひ、ご利用ください!!

世界の核弾頭の数 (2014年8月1日現在)

ロシア	米国	フランス	中国	英国	イスラエル	パキスタン	インド	北朝鮮	合計
~8,000	~7,310	300	250	225	80	100~120	90~110	<10	~16,400

長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)提供 http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/

### 会員数報告

◎維持会員 1,132人  
◎賛助会員 146人  
◎学生会員 12人  
(平成27年3月18日現在)

### 寄付者紹介

ありがとうございます

◎川上正徳 一万円  
◎調朝子 一万円  
◎匿名 (敬称略) 六千円

### 会費納入のお願い

当協会の活動は皆さまの会費に支えられています。まもなく平成27年度の会費払込取扱票をお送りしますので、最寄りの郵便局で納入ください。よろしくお願いいたします。



本紙は再生紙を使用しています。平成二十七年三月三十一日発行

印刷 株式会社 藤木博英社

賛助会員(団体・法人)の一覧は協会ホームページに掲載しています。ご支援・ご協力誠にありがとうございます。